

第 77 回信託研究会 議事要録

日時：2024 年 6 月 29 日（土）11 時～12 時

場所：金沢星稜大学 大屋研究室

出席者：黒田、高橋、大屋（議事録作成者）。以下、敬称略

◆検討事項

1. これまでの研究内容の確認

前回の議事録の内容を確認した。

2. アメリカの大学における慈善寄付信託について

研究テーマとして、アメリカの **Charitable Remainder Trust**（特定寄附信託）を注目し、特にアメリカの大学で行われている寄付受託方法をいくつか分析した。

ピッツバーグ大学の「慈善リード信託（Charitable Lead Trusts）」とハーバード大学の「寄付信託」、について内容を確認したところ。両大学の紹介事例は、以下のとおりスキームの内容が異なっていた。

①寄付信託契約を行ったときに寄付控除を利用する（ただし寄附額は毎年のある一定の固定額のみで運用する）スキーム（以下、「ピッツバーグ方式」という。）

②所有する財産をすべて寄付し運用を任せ生存中は信託額を限度に年金として受け取り残余財産が残った場合は大学に寄付するスキーム（以下、「ハーバート方式」という。）

ピッツバーグ方式及びハーバート方式の各方式において、そのような有用性、税効果、容易性等が存在するのか不明であったので、各方式のメリット、デメリットに関して次回までに調査することとなった。

*ピッツバーグ大学 HP : <https://plannedgiving.pitt.edu/charitable-lead-trusts>

*ハーバード大学 HP : <https://alumni.harvard.edu/giving/planned-giving/pay-income>

次回は、2024 年 7 月 27 日（土）10 時より金沢星稜大学大屋研究室

ホームページ : <http://shintaku-k.opal.ne.jp/>